

福島第一原子力発電所構内の線量状況について

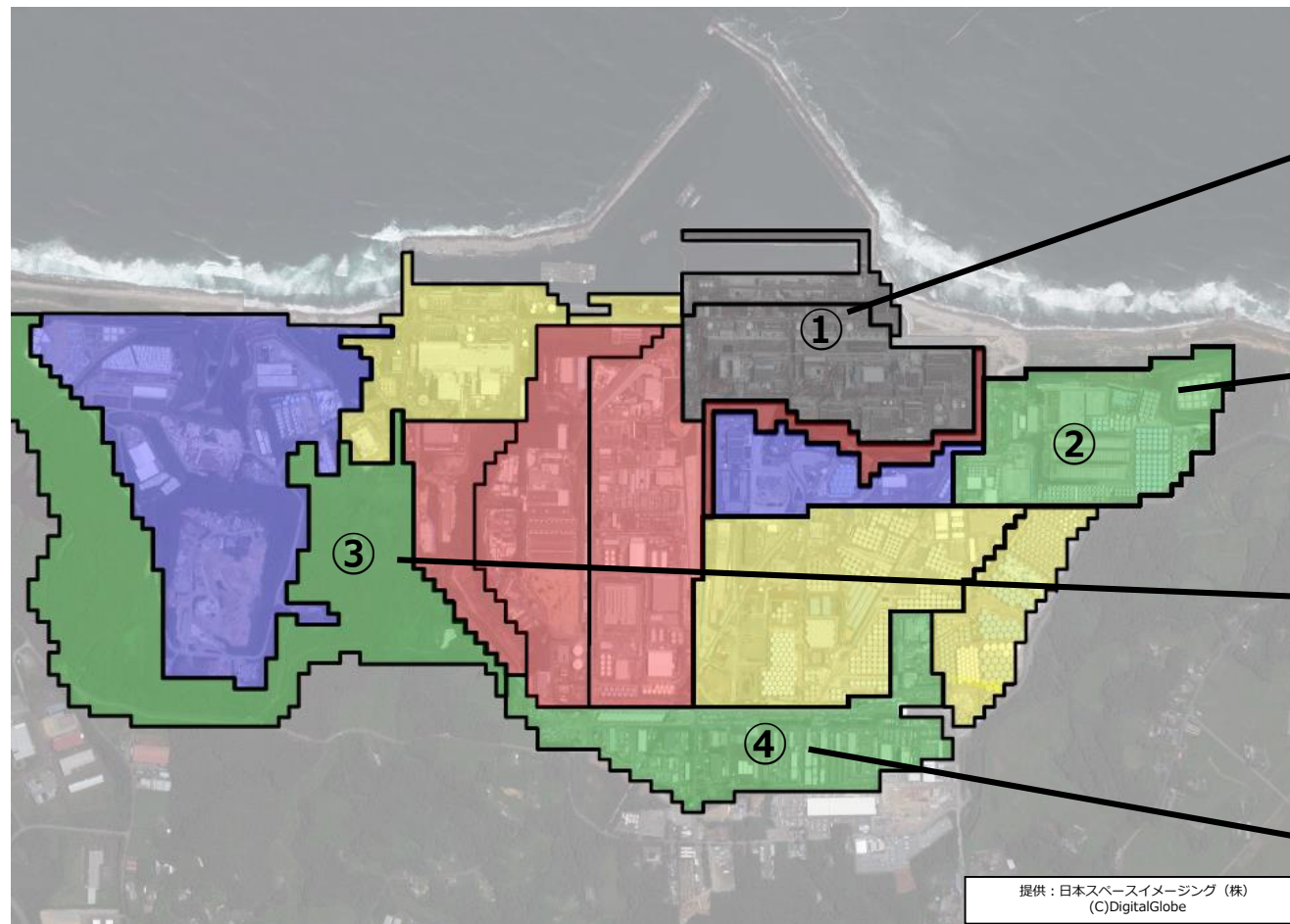
2025年4月24日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. エリアの線量率測定 －実施概要－

福島第一原子力発電所構内の線量率を詳細に把握するため、エリアを1辺30m四方のメッシュ状に区切り、約3,800箇所について、2021年度～2024年度にかけて線量率の測定を実施する。



2024年度測定エリア

測定エリア①

1～4号機周辺
(2025.1 測定)

※前回、2023.11 測定

測定エリア②

Gタンクエリア
(2024.10 測定)

※前回、2021.3 測定

測定エリア③

北側造成エリア
(2024.8 測定)

※前回、2020.2 測定

測定エリア④

企業棟および環境管理棟周辺
(2025.2 測定)

※前回、2017.9 測定

： 毎年測定

： 2021年度測定

： 2022年度測定

： 2023年度測定

： 2024年度測定

1. エリアの線量率測定

－ 1～4号機周辺（測定エリア①）の線量率－

1～4号機周辺の地表面からの高さ1mの平均線量率は、2023年度と比較すると、2.5m盤では6.4 μ Sv/h→3.7 μ Sv/hに低下しており、8.5m盤では60 μ Sv/h→31 μ Sv/hに低下した。

■ 平均線量率

< 2.5m盤 > 【約90箇所】

単位：[μ Sv/h]

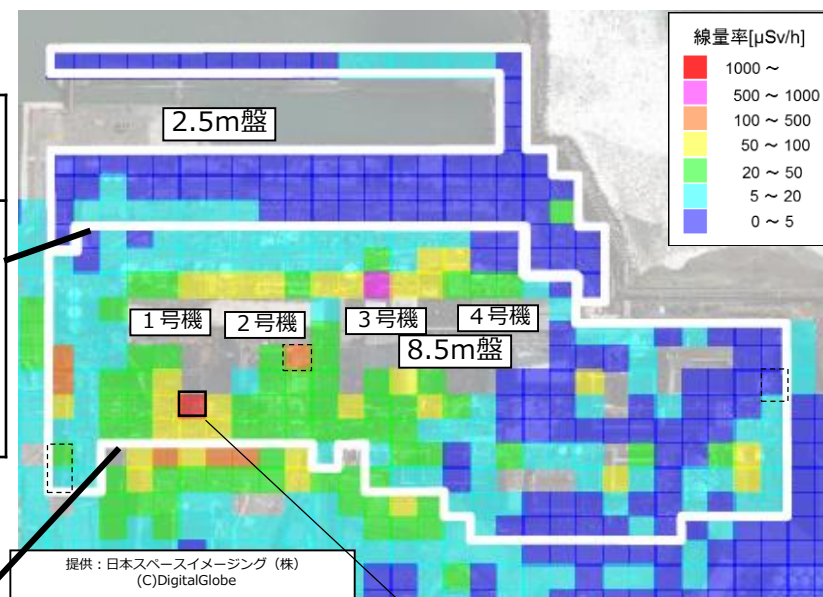
測定年度（測定日）	地表面から1m高さ	【参考】 地表面※1 （リメット）	線量低減に寄与したと考えられる 主要な工事
2021年度（2022.1）	7.1	1.5	・ 防潮堤設置工事における斜面補強構築 ・ 護岸エリア整備工事における汐見坂東側周辺の盛土
2022年度（2022.12）	6.7	1.9	
2023年度（2023.11）	6.4	2.0	
2024年度（2025.1）	3.7	1.0	

< 8.5m盤 > 【約210箇所】

単位：[μ Sv/h]

測定年度（測定日）	地表面から1m高さ	【参考】 地表面※1 （リメット）	線量低減に寄与したと考えられる 主要な工事
2021年度（2022.1）	99	23	・ 高線量のSGTS配管の移動 ・ 3号機変圧器周辺の瓦礫撤去及びそれに伴う鉄板の敷設等
2022年度（2022.12）	53	18	
2023年度（2023.11）	60	17	
2024年度（2025.1）	31	8.7	

■ 線量分布



1,2号排気塔近傍

※1 地表面（リメット）：プラントからの散乱線等の影響がある場所について、線量低減効果を確認するため、地表面（地表面から1cm程度）をリメットして測定。

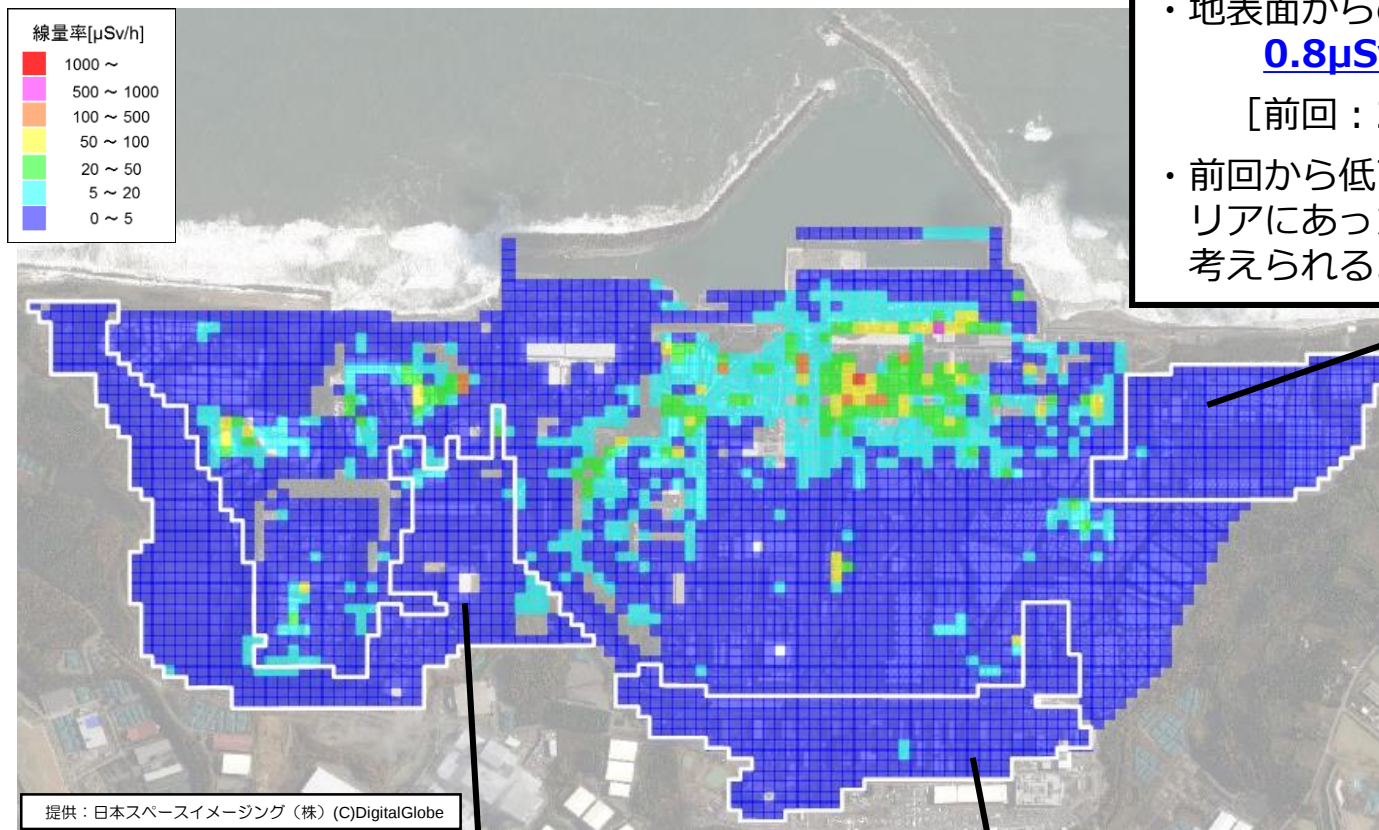
なお、図中の点線で囲った箇所は、工事による立ち入り規制で測定点にアクセス出来なかったため、前回の測定値を採用

1. エリアの線量率測定

－ 1～4号機周辺以外（測定エリア②、③及び④）の線量率－

TEPCO

＜線量分布（30mメッシュ：胸元高さ）＞



測定エリア②：Gタンクエリア

・ 地表面からの高さ 1 m の平均線量率：

0.8μSv/h (2024.10)

[前回：2.4μSv/h (2021.3)]

・ 前回から低下した要因として、当該エリアにあった瓦礫を移動したこと等が考えられる。

測定エリア③：北側造成エリア

・ 地表面からの高さ 1 m の平均線量率：

1.1μSv/h (2024.8)

[前回：2.4μSv/h (2020.2)]

・ 前回から低下した要因として、当該エリアの造成工事にて、盛土や整地を行ったこと等が考えられる。

測定エリア④：企業棟および環境管理棟周辺

・ 地表面からの高さ 1 m の平均線量率：

1.4μSv/h (2025.2)

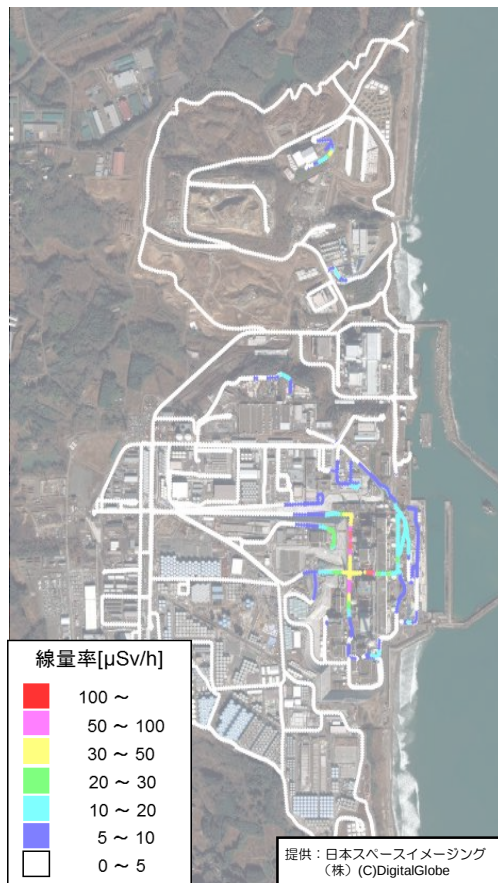
[前回：1.8μSv/h (2017.9)]

・ 前回値と概ね変わらず。

2. 構内主要道路の線量率の状況

構内主要道路については、四半期に1度、走行サーベイ※¹により線量率の状況を確認している。昨年度と比較すると、1～4号機東側（図中黒破線箇所）の道路において線量率の低下を確認した。当該エリアは、防潮堤設置工事他により、線量が低減したものと考えられる。

＜2023年度 第4四半期＞
(2024.2 測定)



＜2024年度 第4四半期＞
(2025.3 測定)



※ 1

車両に線量率測定器を搭載し、同時に位置情報を自動的に記録することで走行しながら線量率を確認